

高橋カーテンウォール工業株式会社

2018年度 決算説明資料

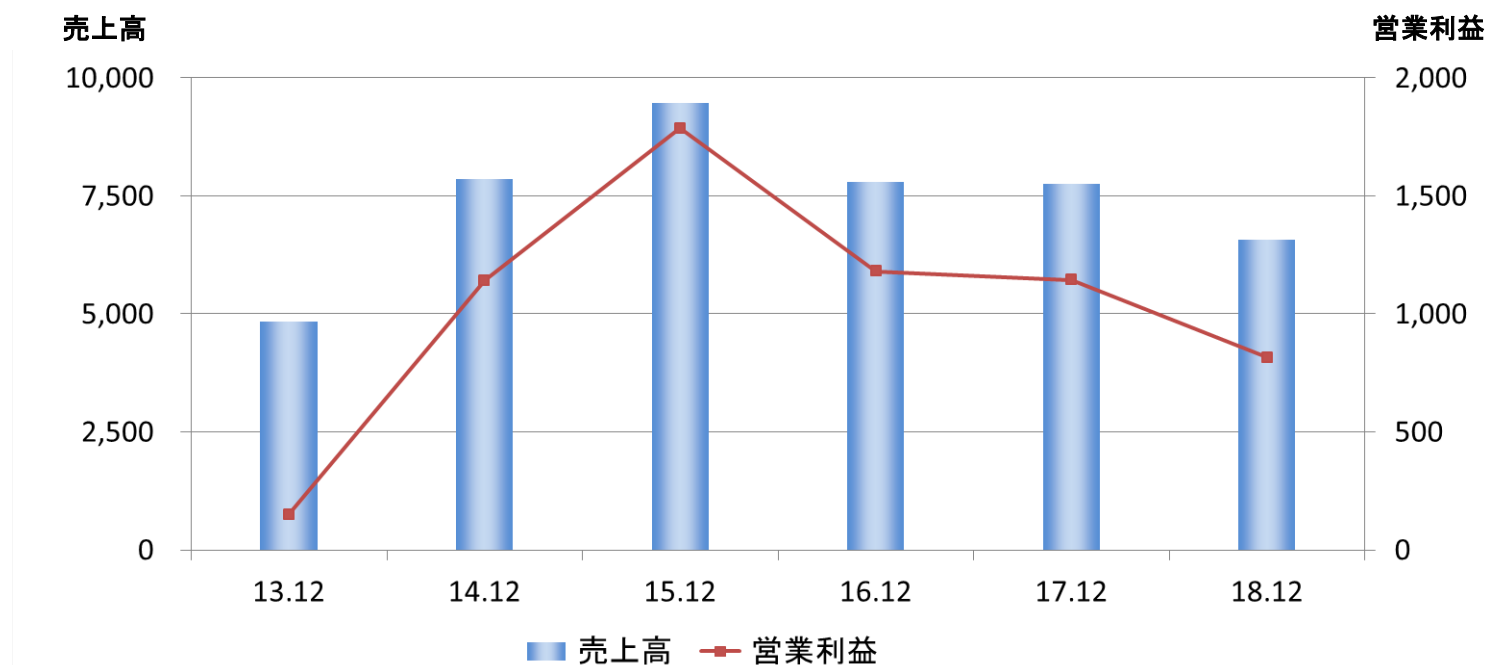
代表取締役社長：高橋 武治

2019年2月12日

連結決算概要(売上高・営業利益推移)

【単位:百万円】

	13年12月期 決算	14年12月期 決算	15年12月期 決算	16年12月期 決算	17年12月期 決算	18年12月期 決算
売上高	4,840	7,861	9,476	7,801	7,763	6,568
営業利益	150	1,141	1,787	1,180	1,144	816
経常利益	164	1,134	1,791	1,204	1,259	900
当期純利益	183	930	1,736	1,527	771	715



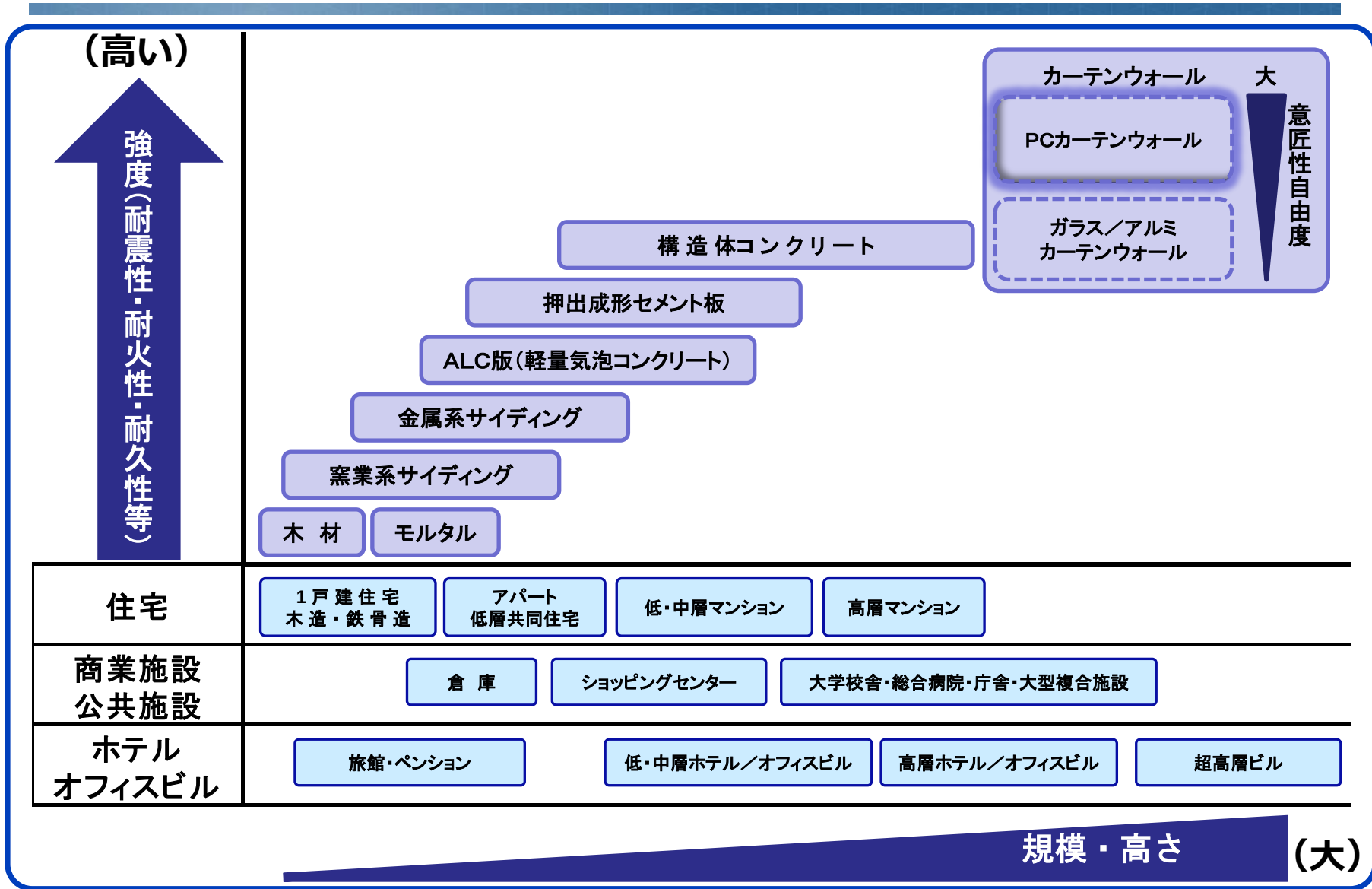
PCカーテンウォール紹介

「PCカーテンウォール工法とは」

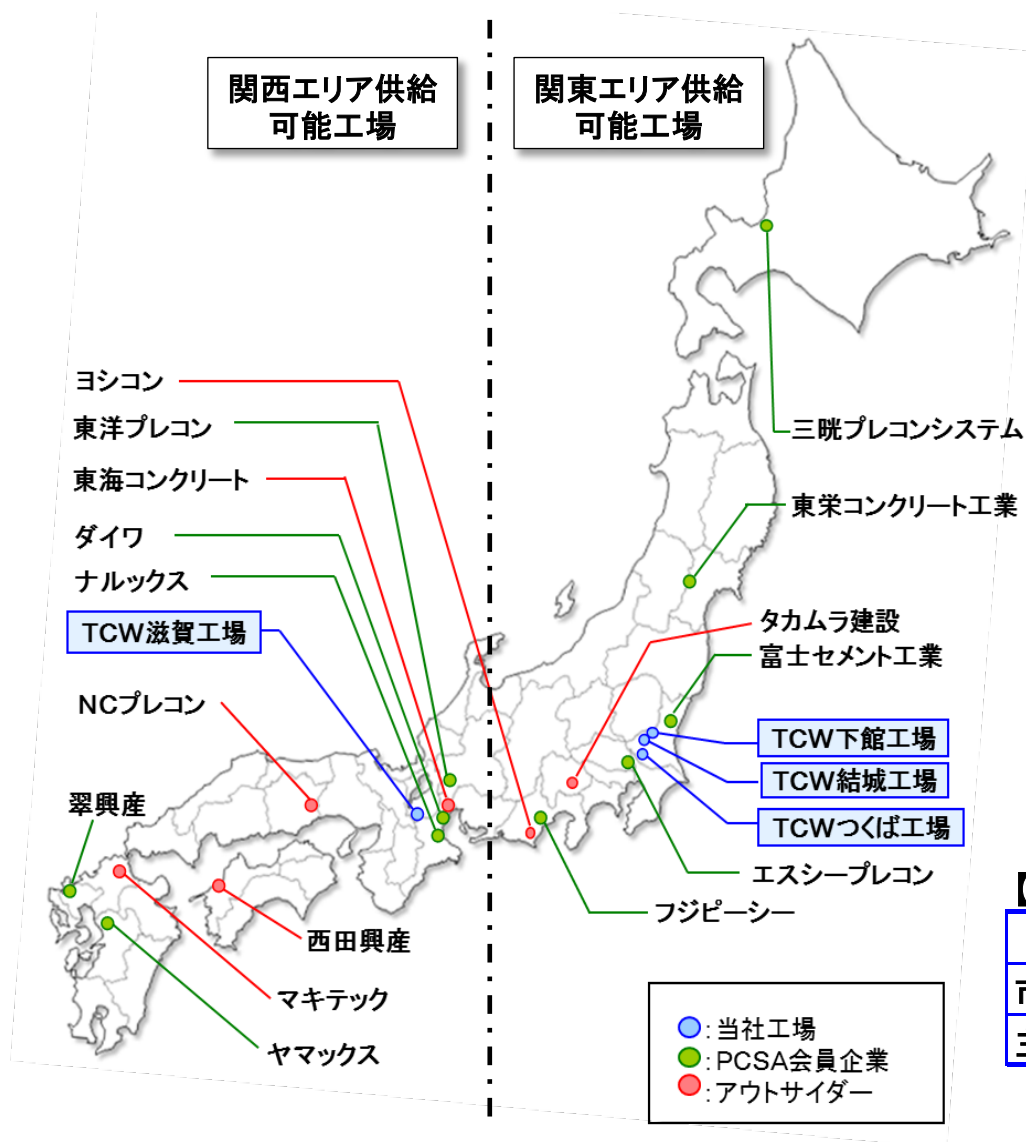
- パネル状のビル外壁を工場で生産し、建設現場の作業効率を上げる工法。
- 高層ビルをはじめ、大規模ビルの標準的な工法として定着。



様々な外壁製品



PC生産拠点の分布(カーテンウォール事業)



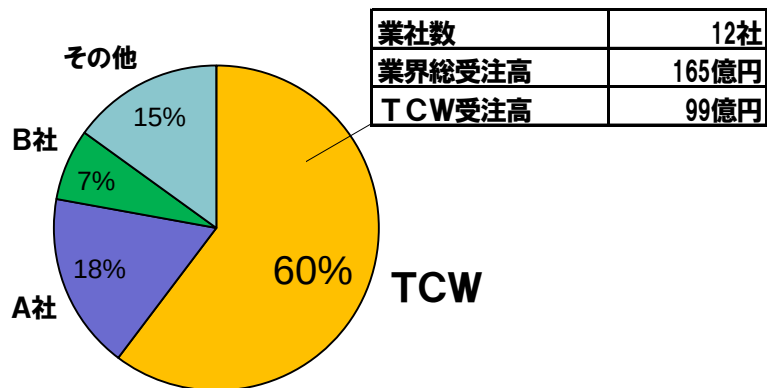
カーテンウォールは
1枚あたり数tと重いため、
一般的に物件近くの工場に
発注される。

【関東と関西の比較 (2018年度)】

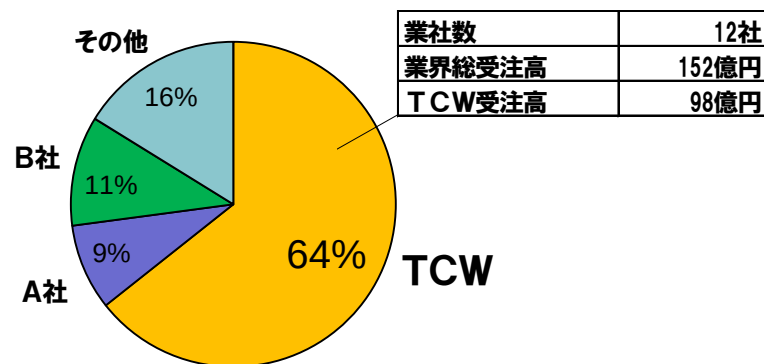
	関東メーカー	関西メーカー
市場規模(受注額)	108 億	44 億
主要競合社数	2 社	8 社

TCW全国マーケットシェア (2017-2018年度)

2017年度

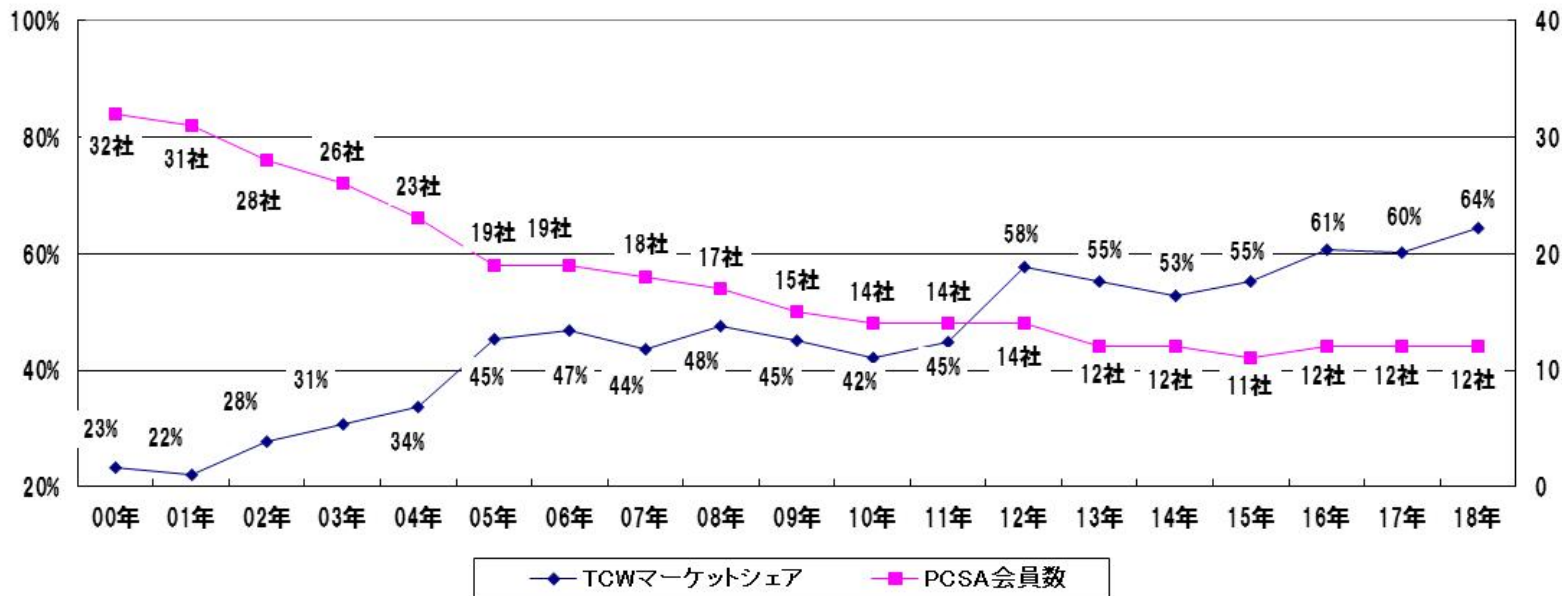


2018年度



マーケットシェア

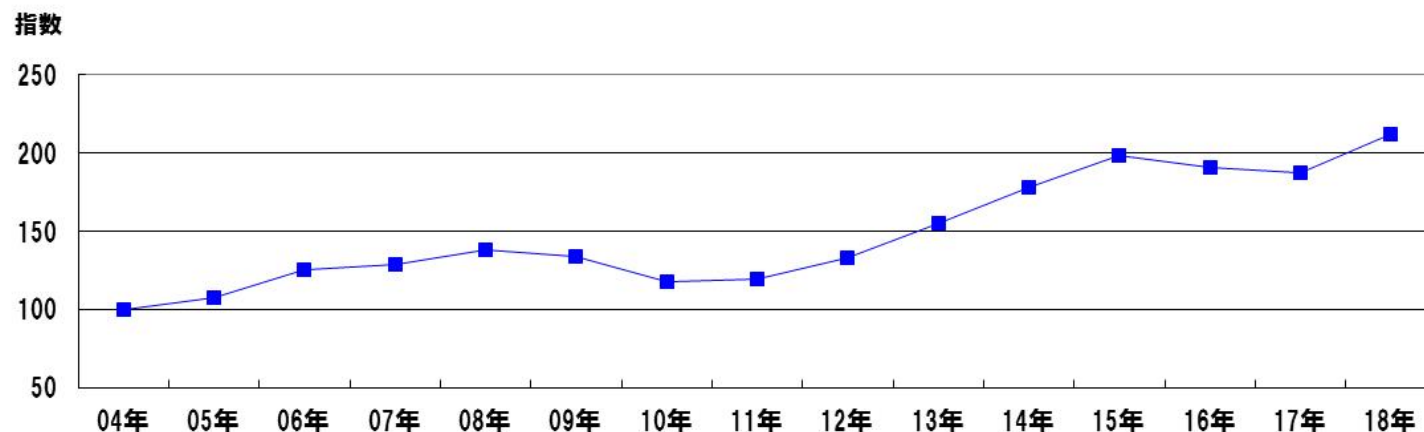
PCSA会員数



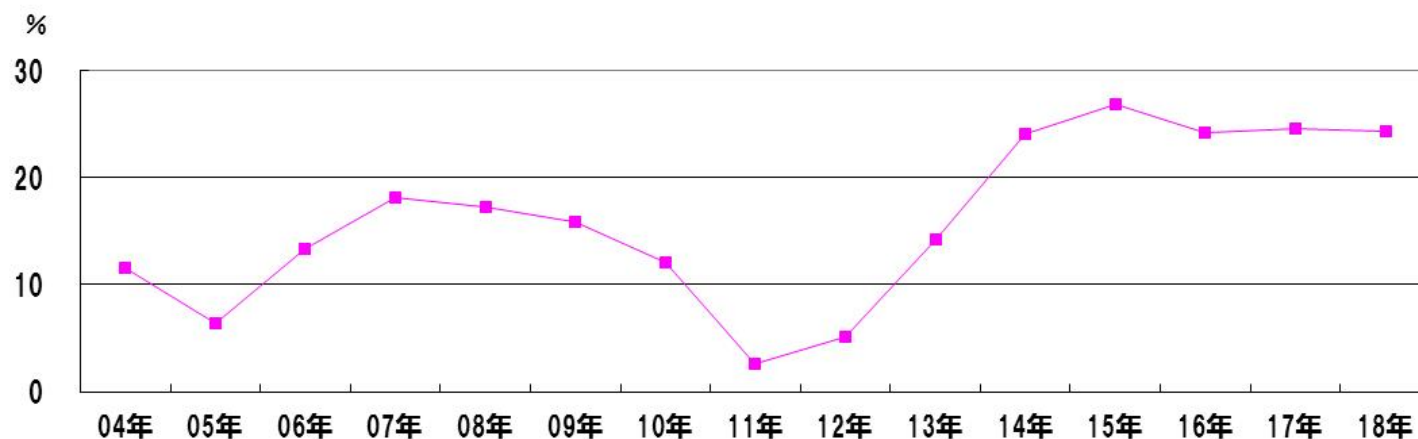
※ PCSAマーケティング部会集計値(但し、2015年度は一部ヒアリング数字を含む)

TCW 受注単価・売上粗利率推移

【受注単価推移】



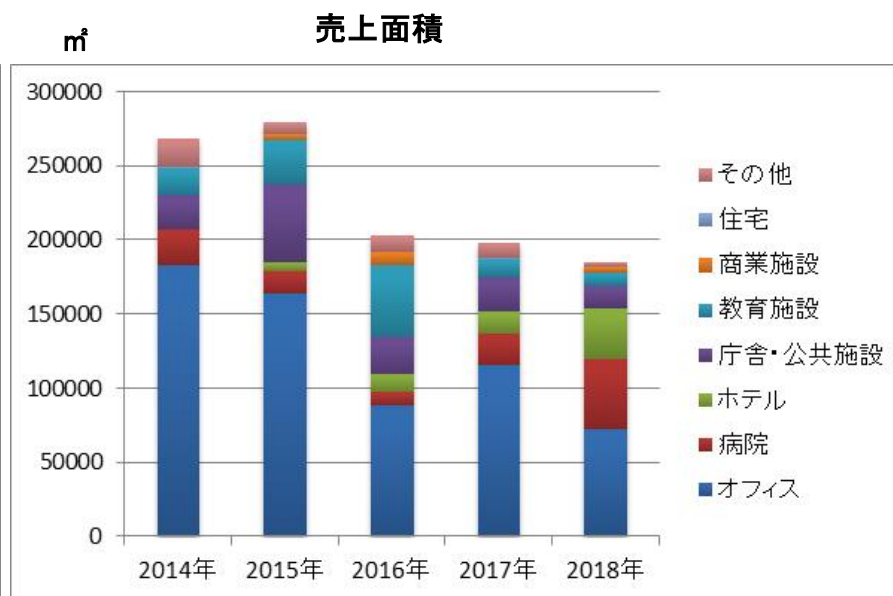
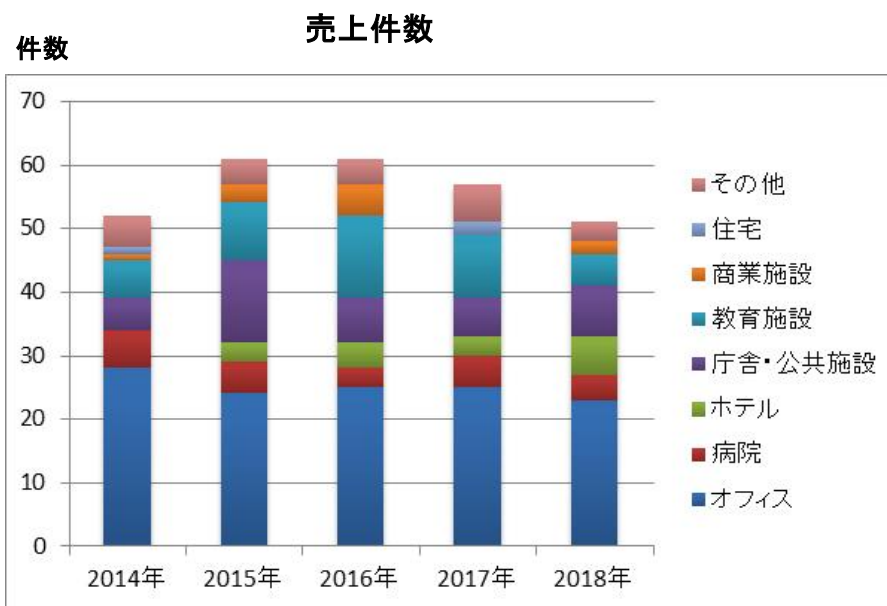
【売上粗利率推移】



注：受注から売上計上まで1～2年程度の期間を要する

完成工事用途別推移

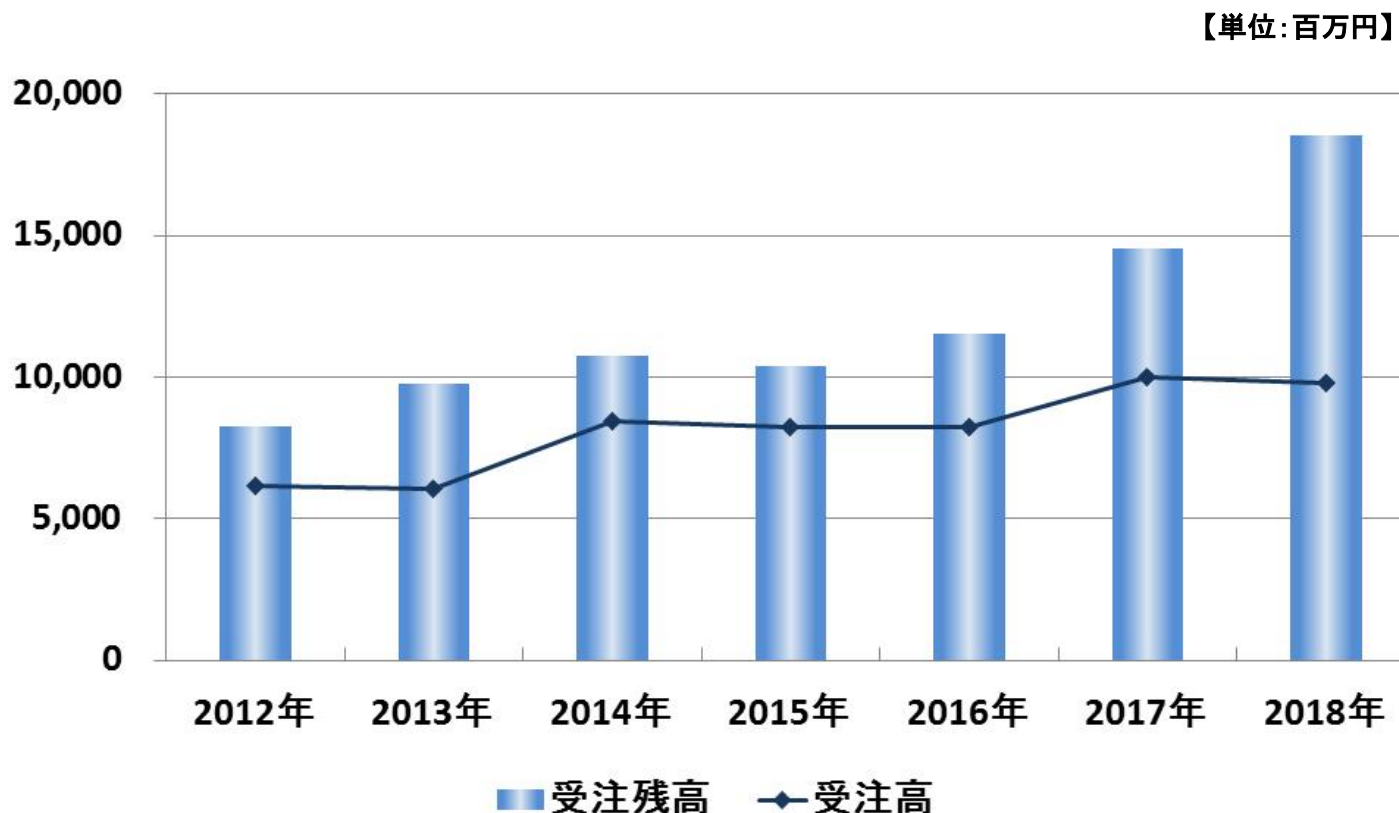
- 売上物件のメインは依然オフィスビル
- 売上面積ベースでは、近年、ホテル・病院の比率が増大



1. **大型化・複雑化する顧客ニーズへの対応**
ストックヤードの増強
クレーンの新設及び既存クレーンの能力アップ
人材の増強
2. **施主・設計事務所・ゼネコンへのアプローチ**
強化によるPCカーテンウォール市場の拡大
3. **高付加価値商品の開発・普及**

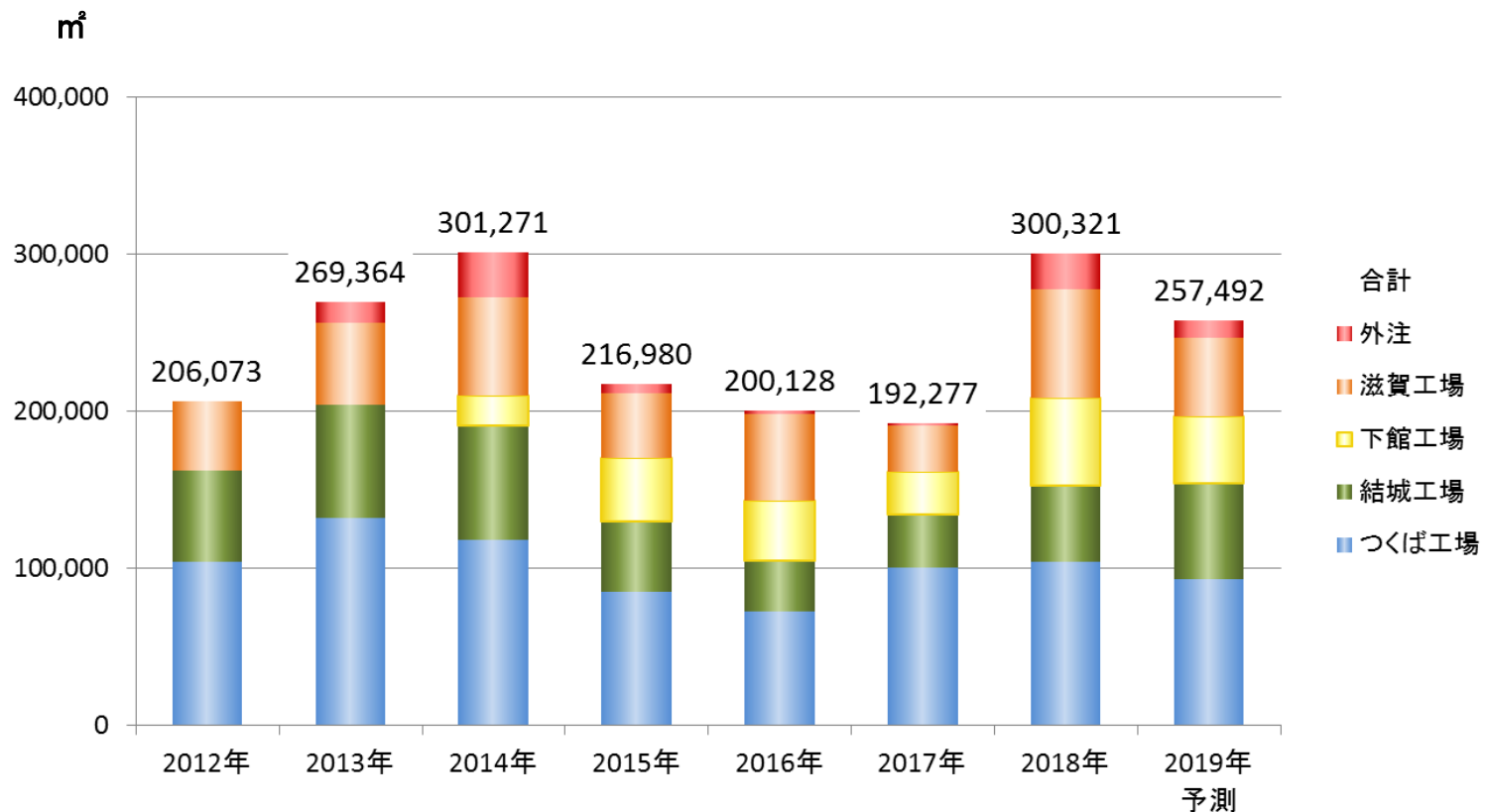
PC事業受注及び受注残高推移

- 受注は極めて堅調に推移
- 2018年末は過去6年間で最高の受注残高
- 長期プロジェクト割合増加により、売上の顕著な伸びは2019年以降になる見込み



工場別生産量推移

- ・ 2018年度の生産量は過多
- ・ 2019年はより適切な生産量になる為、2020年度以降は採算性が向上する見込み



高付加価値商品（アーキコン）

アーキコンとは

自然石の風合いをコンクリートで表現したPCカーテンウォール

●特徴

PCパネル表面にタイルや石材などを打ち込むのではなく、表面に加工を施して自然石の風合いを再現できる。

表面加工一例



研ぎ出し

研磨機でコンクリート表面を平滑に研磨し、骨材などを露出させる手法。

サンドブラスト

砂を圧縮空気と混合し、高速度でコンクリート表面に吹付ける仕上げ。



高付加価値商品（アーキコン）の代表的な施工事例



グランフロント大阪
南館・北館
(大阪市北区)



ザ・ペニンシュラ東京
(千代田区)

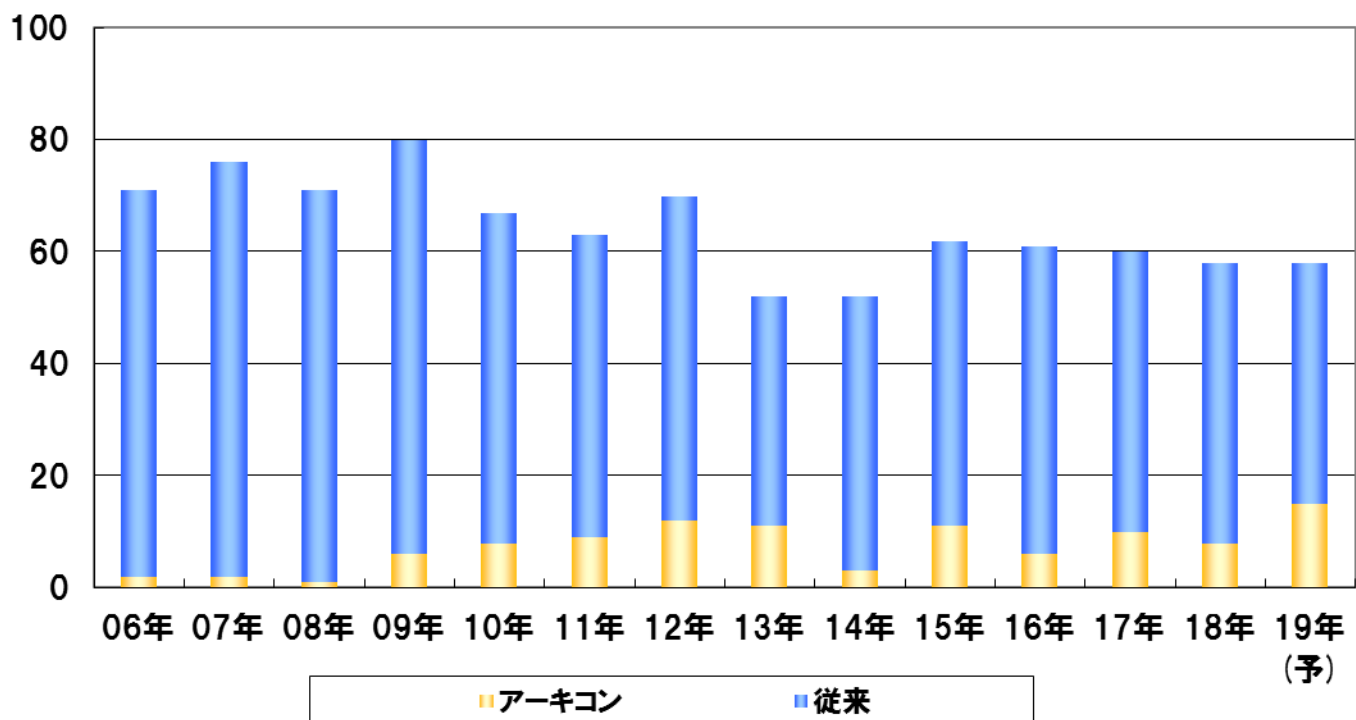


テラススクエア
(千代田区)

高付加価値商品（アーキコン）案件数推移(完成工事基準)

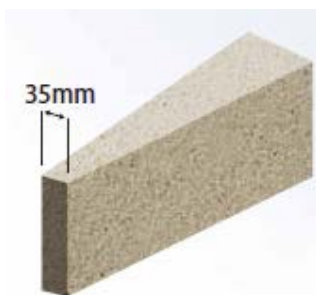
コンクリート系外装の中で一定の地位を確立している

売上案件数



次なる技術を追求

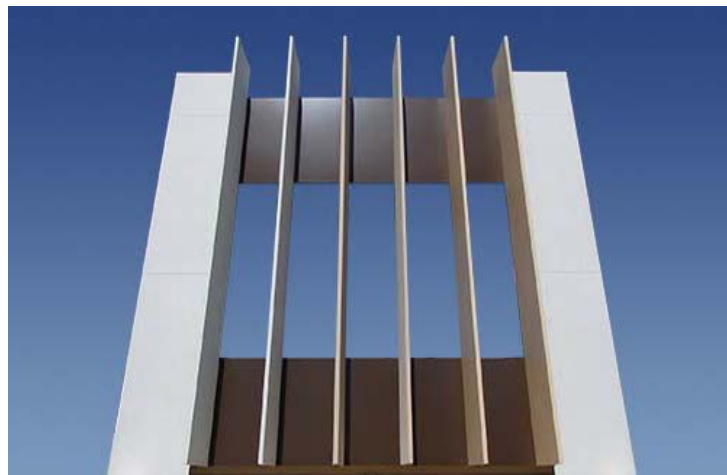
セメント系材料(フェロクリート)でより薄い日よけをつくる技術を開発
一般的なコンクリートでは不可能だった薄さを実現



→ 3.5cmの薄さの製品をつくることが可能。日よけに利用することでエコ、デザイン、質感、全ての面を満たす、画期的な商品。積極的なPRで需要を喚起する予定。

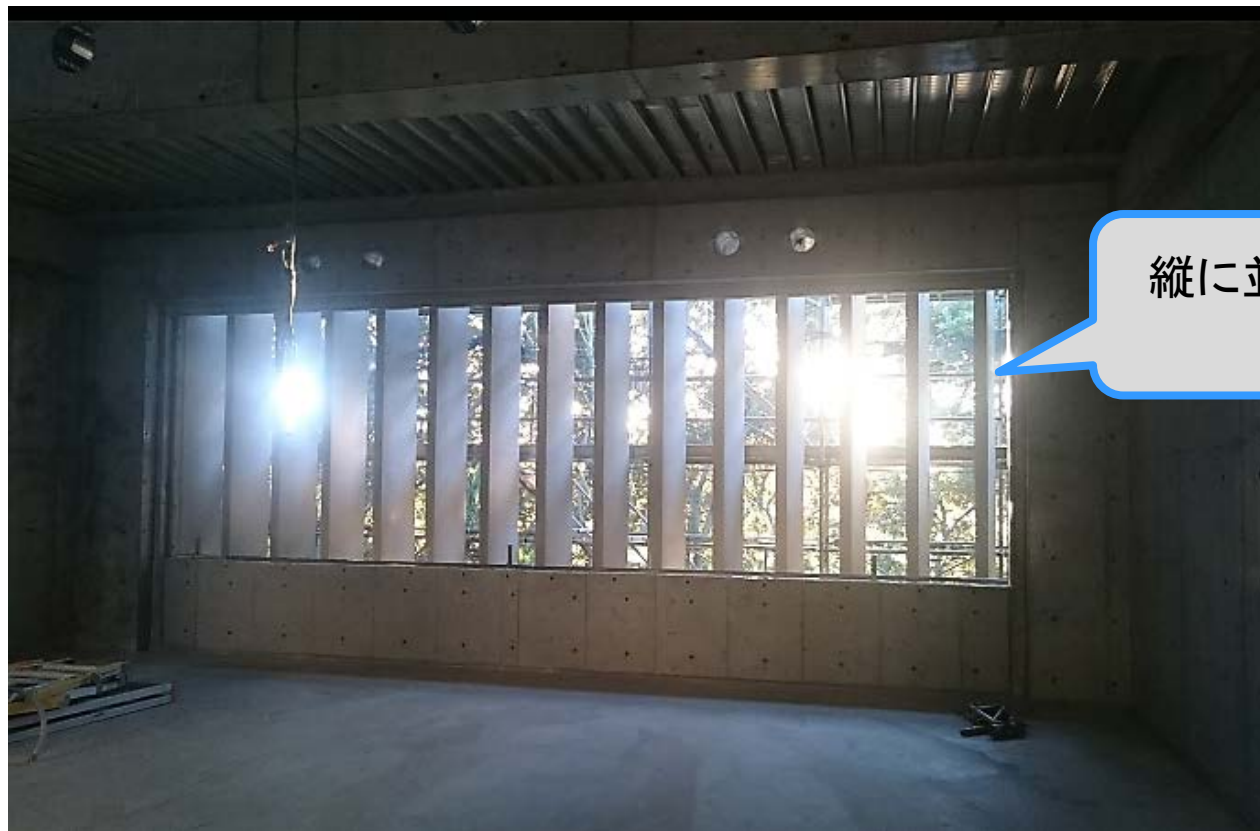


フェロクリート内部に埋め込まれた金網がひび割れを防止しているので、薄くても丈夫な製品が作れる。



フェロクリートの施工

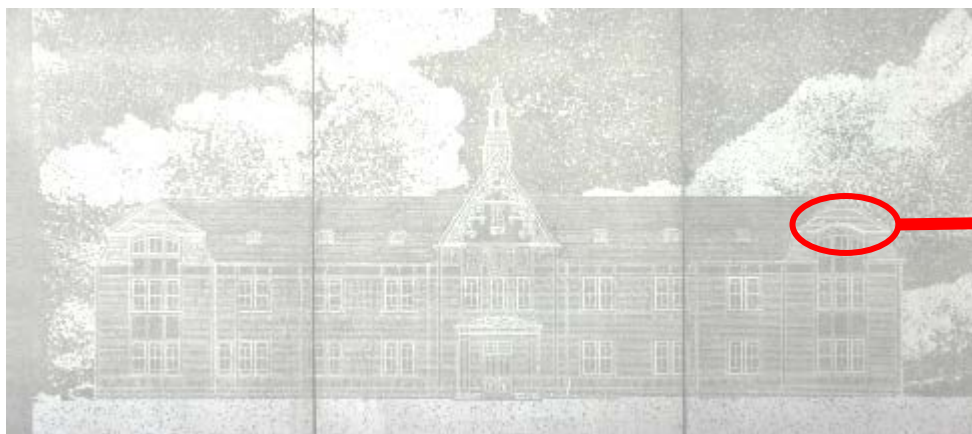
フェロクリートを使用した案件を受注し、製品の取付作業が完了



縦に並んで見えるものが
フェロクリート

建物の内部から外を見た写真

更なる新商品の販売(グラフィックコンクリート)



写したい写真や模様を
コンクリートの表面に描くことが可能



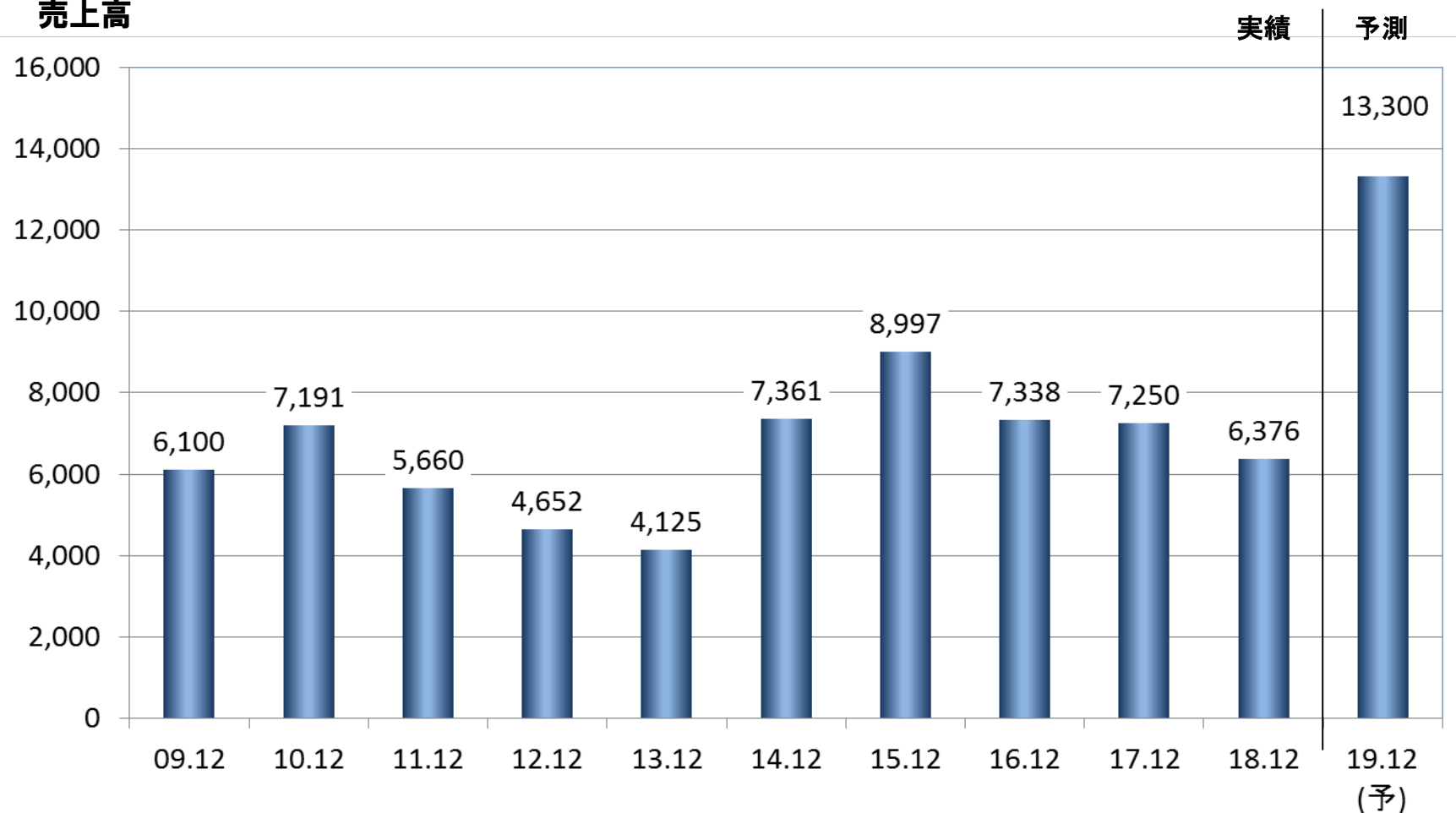
PCカーテンウォールの表面に
細かい模様や絵を入れ
デザイン性を高めることができる



PC事業売上高推移(完成工事基準)

単位:百万円

売上高



水を活かした空間のコンセプト及び全体計画を提案し、
設計から施工・監理までをトータルに実施。

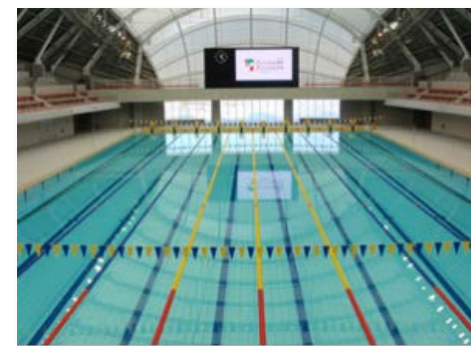
商品内容



可動床・可動階段



救助・訓練用施設



競技用プール

可動床プールの紹介

ボタンひとつでプールの床面を昇降させ利用目的に適した水深に変えることが可能。

可動床面を分割したり、水深0mまで上昇させ床面に人工芝を敷くことにより、多目的な陸上スペースとして使用することも可能。



星野学園

小学生から高校生までの利用者に対応した可動床システムを採用

場所 埼玉県川越市

仕様 ステンレス・タイル仕上げ、
可動床システム

救助・訓練用プールの紹介

震災後から訓練用プールなどのニーズが高まっている。

水難救助・潜水訓練・燃焼実験棟・水害救助訓練・転落救助訓練など、
様々な施設を提案する。

京都市消防活動総合センター



潜水訓練プール

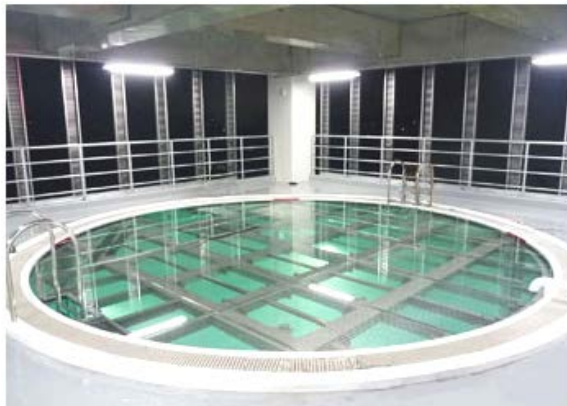
仕様 水深10メートル円形プール



河川救助訓練プール

仕様 水流発生型25メートルプール

施工事例



富山県広域消防防災センター

場所 富山県富山市

仕様 ステンレス製無塗装仕上

可動床付潜水訓練用プール(水深10m)



日本食塩製造株式会社

場所 神奈川県川崎市

仕様 食塩製造用ステンレス製溶解槽

→プール以外の分野への進出



開成山屋内水泳場(公認プール)

日本水泳連盟認定公認プール

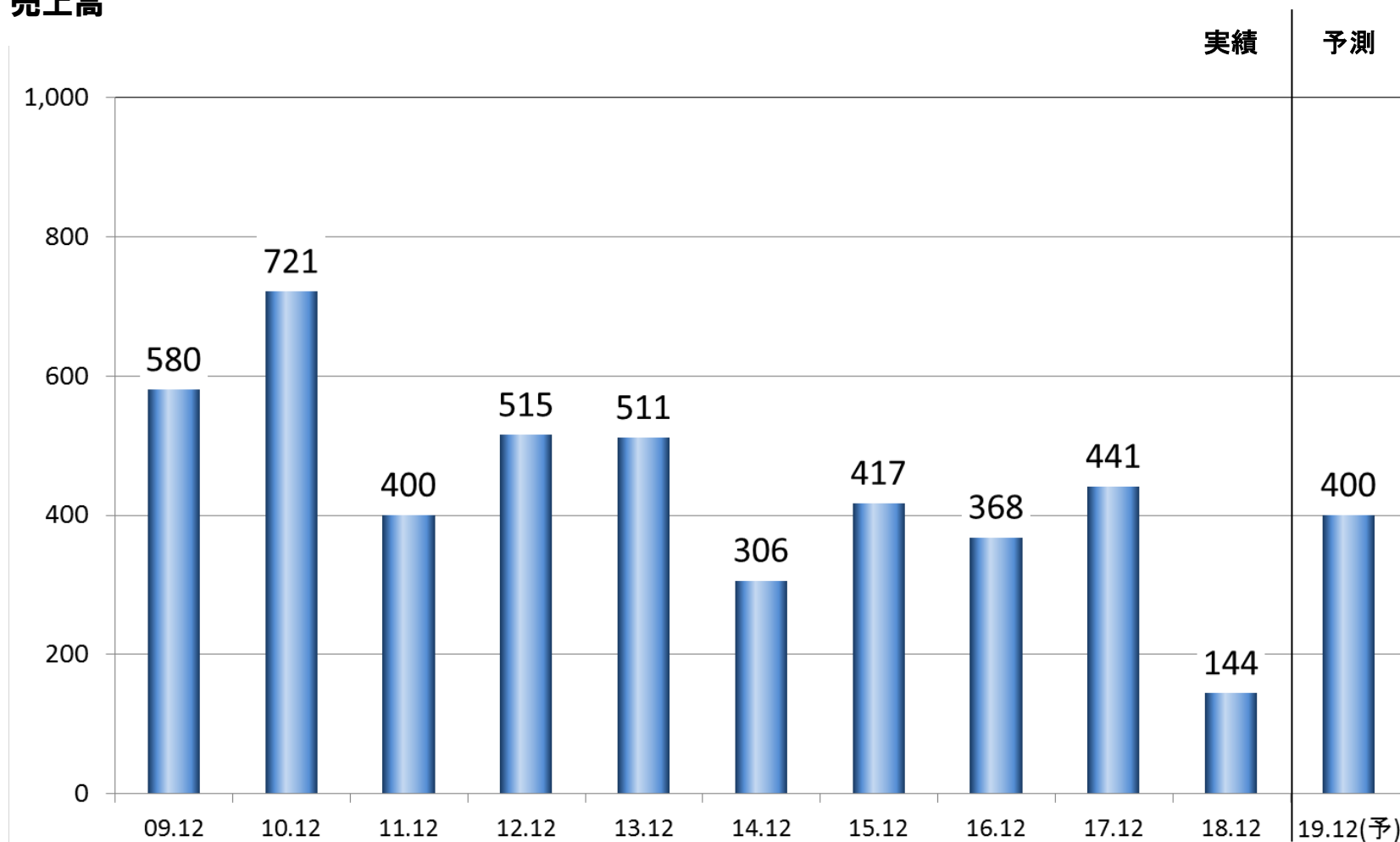
場所 福島県郡山市

仕様 プール用タイル仕上・金物

アクア事業売上高推移

売上高

単位:百万円



- 防災訓練用施設や産業分野での採用など新しい分野の受注増加を目指す
- メンテナンス事業で安定的な収益を確保する
- PC事業との営業連携強化

2019年度連結通期予測

【単位:百万円】

	2018年12月期 決算	利益率	2019年通期予測	利益率	増減率
売上高	6,568	—	13,800	—	110.1%
営業利益	816	12.4%	1,490	10.8%	82.6%
経常利益	900	13.7%	1,530	11.1%	70.0%
当期純利益	715	10.9%	980	7.1%	37.1%

- 受注過多により、調達コストの上昇や、コストの高い外注を活用せざるを得ず、利益率が低下

配当推移

年度	配当金額	配当性向
～2009年	配当10円を基本とする	-
2010年～2013年	2010年からの3期連続赤字により配当0円	-
2014年	業績回復により20円まで復配 (普通配当10円+創立50周年記念配当10円)	19.0%
2015年	配当 30円 (中間配当10円+期末配当 20円)	15.4%
2016年	配当 20円 (中間配当10円+期末配当 10円)	11.6%
2017年	配当 20円 (中間配当10円+期末配当 10円)	22.7%
2018年	配当 20円 (中間配当10円+期末配当 10円)	24.4%
2019年(予)	配当 30円 (中間配当15円+期末配当 15円)	26.7%



【見通しに関する注意事項】

本資料に掲載されている中で、下期の予測あるいは今後の見通し等が含まれていますが、実際の結果は様々な要因により記述内容と大きく異なる可能性があります。